

2輪車両規定

- ① 市販状態で排気量 125cc以下の車両は走行することができません。
※ 当該年の「九州ロードレース選手権シリーズ」で開催されるクラスに該当する車両は走行することができます。
- ② フレームタイプがスクーターやアンダーボーンタイプの車両は走行することができません。
- ③ アメリカンタイプなどサーキット走行に不向きと判断した場合は、走行をお断りさせていただくことがあります。
ご自身の車両で走行できるか不安な場合はオートポリス コースまでお問合せください。

取り外さなければならない部品

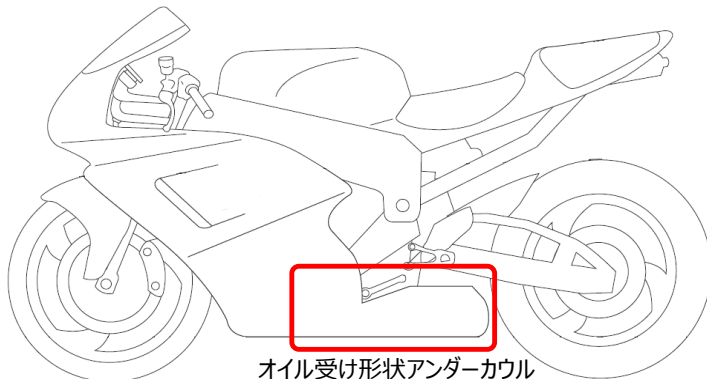
- ① センタースタンド
転倒時に危険な突起物となる為、必ず取り外してください。

取外しを推奨する部品

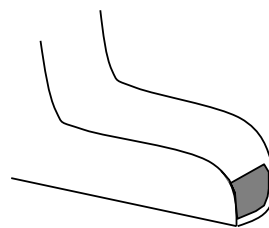
- ① ナンバープレート
走行中や転倒時に脱落すると二次事故を起こす危険がありますので取外しを強く推奨いたします。
- ② サイドスタンド
転倒時に危険な突起物となる為、取外しを強く推奨いたします。
取り外すことが困難な場合はサイドスタンドが起きないようにビニールテープなどで固定することを強く推奨いたします。
※ コーナリング中に路面と接触するとスタッフが判断した場合は、取り外していただきます。
- ③ ライト / ウィンカー / ブレーキランプ / テールランプ / バックミラー / リフレクター / ナンバープレート照明灯
走行中の脱落や転倒時コースに飛散したりすると二次事故を起こす危険がありますので取外しを推奨いたします。
取り外すことが困難な場合、ガラス製レンズには脱落・飛散防止のため点灯が確認できる程度にビニールテープなどで固定してください。
- ④ タンデムステップ
走行中の脱落や転倒時に危険な突起物となるため、取外しを推奨いたします。
取り外すことが困難な場合はビニールテープなどで固定することを推奨いたします。

取付けを推奨する部品

- ① ワイヤロック
走行中に緩んではならない箇所にはワイヤロックの取り付けを強く推奨いたします。
例) ドレンボルト / オイルフィルターキャップ / オイルフィルター / 水冷オイルクーラーボルト / ブレーキキャリパーのボルト
※ ワイヤロックのかけ方については行きつけのショップなどのスタッフにご相談ください。
- ② クローズドブリーザーシステム / オイルキャッチタンク
エアクリナーボックスの交換・加工・取外しをしている車両はオイルキャッチタンクの装着を推奨いたします。
- ③ アンダーカウル
走行中の車両トラブルによる路面へのオイル漏れを最小限にとどめるため、オイル受け形状のアンダーカウルの装着を強く推奨いたします。
※ 使用されるエンジンオイル及びエンジンクーラント総量の最低半分を保持する構造のアンダーカウルが望ましい。



オイル受け形状アンダーカウル 拡大図



- ④ プロテクティブコーン / スライダー
転倒時にコースに傷が付くのを防ぐ、およびカウルなど車両の破損を防ぐためにプロテクティブコーン及びスライダーの装着を推奨いたします。
プロテクティブコーンの先端は丸みを持たせ、フェアリングの表面から必要以上に突き出してはなりません。

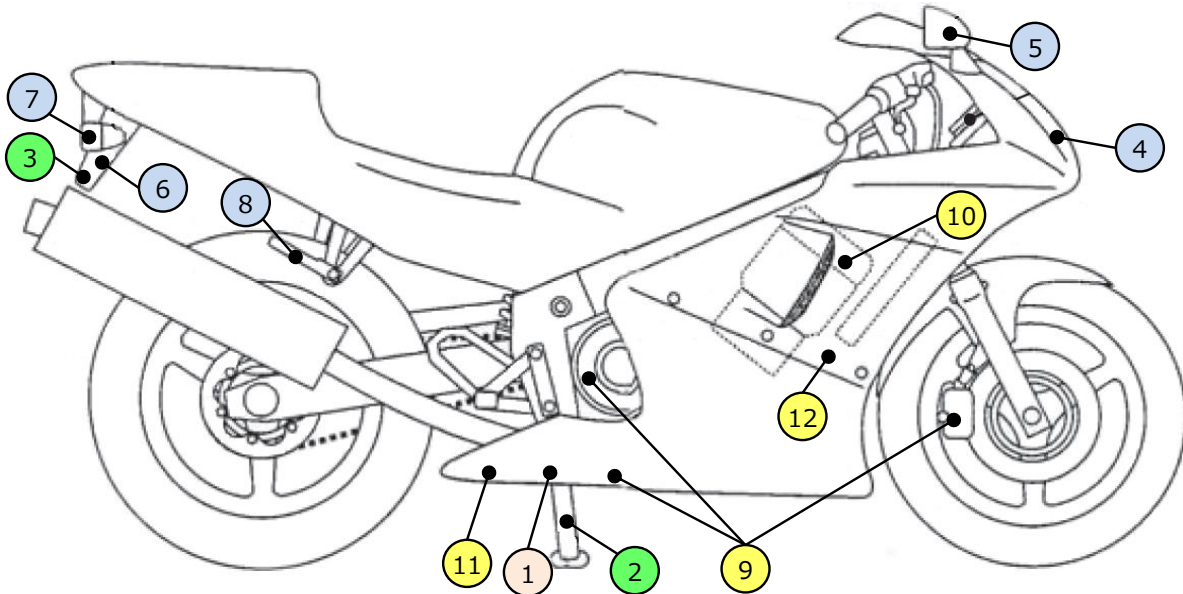
タイヤ

極度に摩耗したタイヤでは走行することができません。また、雨量によってはスリックタイヤでの走行をお断りする場合があります。

排気音量

近隣への環境を考慮し、排気音量は105 dB/Aまでとして下さい。

【車両規定_イラスト】



取外さなければならない

- ① センタースタンド

取外しを強く推奨

- ② サイドスタンド
- ③ ナンバープレート

取外しを推奨

- ④ ライト
- ⑤ バックミラー
- ⑥ ブレーキランプ
テールランプ
リフレクター
ナンバープレート照明灯
- ⑦ ウィンカー
- ⑧ タンデムステップ

取付けを推奨

- ⑨ ワイヤロック
- ⑩ クローズドブリーザーシステム
オイルキャッチタンク
- ⑪ オイル受け形状アンダーカウル
- ⑫ プロテクティブコーン
スライダー

走行クラス区分

2輪スポーツ走行は市販状態の排気量とレーシングコース1周のラップタイムによりクラス分けを行っております。
区分内容に適した走行クラスでご走行ください。

走行クラス	区分内容
2 B-A	排気量が401cc以上でラップタイムが2分10秒より速いペースで走行するクラス
2 B-B	排気量が401cc以上でラップタイムが2分10秒より遅いペースで走行するクラス
2 B	2 B-Aクラスと2 B-Bクラスの混走クラス
2 S	排気量が400cc以下の車両が走行するクラス
2 ALL	2 Bクラスと2 Sクラスの混走クラス

※ ドライ路面でのラップタイムが基準となります。

※ 基準のラップタイムはベストタイムではなく平均的に記録できるラップタイム（アベレージタイム）となります。

※ ラップタイム（アベレージタイム）は自己申告となります。

※ 同一日に2 B-Aクラスと2 B-Bクラスを同じ車両で走行することはできません。